

将来の夢

都城市立庄内中学校 2年 末平 海雄

僕の将来の夢は、レスリングの全国大会で優勝して、世界大会に出場することです。そのために、毎日の練習に全力で取り組んでいます。特に、合宿は、高校生の合宿に参加して、自分より強い選手から1ポイントでも取れるようにチャレンジしています。また、練習が休みの日も走ったり、筋トレをしたりして、自分が少しでも強くなるように努力しています。

僕がレスリングを始めたのは、小学4年生からです。始めた頃は、レスリングが楽しいという理由で、練習に行っていました。やがて、5年生になった時の九州大会で、6年生に何もできずに負けてしまいました。それがとても悔しくて、先輩たちに練習をお願いして、自分を追い込みました。その結果、小学5年の最後の九州大会で、見事優勝することができました。そして、それからは、県大会と九州大会で負けたのは1回だけでした。

その頃の僕は、誰にも負けないと思っていました。しかしながら、中学生になって初めての大会で、2年生に何もできずに負けてしまいました。そこで、中学生のレベルの高さと、自分が未熟だということを知りました。それ以来、県内のトップレベルの高校生や先生方とスパーリングをして、死にもの狂いで自分を追い込む練習をしました。その甲斐あって、12月の九州大会で優勝することができました。

僕は、中学校卒業後は、都城市内の高校のレスリング部に入部したいと考えています。そして、インターハイで優勝して、小学生からクラブで指導してもらった先生に恩返しをしたいです。そのためにも、日常の学校生活をしっかり送ると同時に、生徒会の仕事を積極的に行い、夏休みのボランティア活動にも参加しようと考えています。

僕が所属するクラブの先生は、「日頃からこつこつ努力することが大事」とよく言います。だから、僕は、自分の夢を叶えるために、レスリングの練習や学校生活の両方とも大事にしたいと思います。そして、自分の憧れの舞台である世界大会のマット上で試合することを夢見て、日々一生懸命に努力していきたいと思います。